

船舶事故等調査報告書

平成25年1月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012那第17号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成24年3月21日 08時15分ごろ
発生場所	沖縄県宮古島市長山港南東方沖 長山港第6号立標から真方位093° 1,740m付近 (概位 北緯24° 47.5′ 東経125° 13.0′)
事故等調査の経過	平成24年4月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 民豊丸、498トン 136155、開成マリン株式会社（船舶管理人）、有限会社六甲船舶（船舶借入人）
乗組員等に関する情報	船長、二級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	船底外板に擦過傷及び凹損
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、糖蜜約300tを積載し、船長及び機関長が船橋当直に就き、長山港南東方沖の浅礁域を船首約1.90m、船尾約3.35mの喫水及び約7ノットの対地速力で手動操舵により北西進中、船長が灯浮標の確認に手間取っているうち、平成24年3月21日08時15分ごろさんご礁に乗り揚げた。 船長は、レーダー及びGPSを作動させていたが、これらによる船位の確認をせずに航行した。 本船は、タグボート2隻により引き出され、宮古島市平良港に入港した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 5、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期
その他の事項	船長は、長山水路を航行することは初めてであり、灯浮標の確認に手間取り、本船が風により圧流されていることに気付くのが遅れた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、長山港南東方沖の浅礁域を北西進中、船長がレーダー及びGPSを使用して船位を確認しなかったことから、風に圧流されてさんご礁に向けて航行しており、さんご礁に乗り揚げたものと考えられる。

<b>原因</b>	本事故は、本船が、長山港南東方沖の浅礁域を北西進中、船長がレーダー及びGPSを使用して船位を確認しなかったため、風に圧流されてさんご礁に向けて航行しており、さんご礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
-----------	--